

第5学年 道徳科学習指導案

令和3年9月25日（土）3校時

第5学年 1組石原久美子 2組戸原真彦 3組浦島桃子 4組飯岡利彦

- 1 主題名 【 さまざまな人の立場を考えて 】 B（6）親切、思いやり
- 2 教材名 「マークが伝えるもの」
- 3 ねらい 相手の置かれている状況を自分に置き換えて想像し、思いやりの心を表そうとする心情を育てる。

4 展開

| | 学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応 | ・指導上の留意点 |
|--------|---|---|
| 導 入 | 1 ピクトグラムとは、どのようなものか知る。 ○町の中で、このようなマークを見たことがありますか。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ピクトグラムには、どんな考えや思いがこめられているのだろう。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・非常口の誘導灯、車いすなどのピクトグラムの写真や、オリンピック開会式でのピクトグラムを用いたパフォーマンスの動画を提示し、めあてにつなげる。 |
| 展 開 | 3 教材「マークが伝えるもの」を読んで話し合う。 ○レストランで、理子は、どんなことに初めて気づいたのでしょうか。 ・いつも見ているマークが、いろいろな人の役に立っている。 ・小さな子どもや外国の人などにも分かりやすい。 ・いろいろな立場の人がいることを考えることが大事。 ◎ピクトグラムを考えた人は、どんな思いを込めてピクトグラムを作ったのだと思いますか。 <利用者> ・どんな人にも役立つマークを作りたい。 ・情報が分からなくて困っている人を助けたい。 <工夫> ・自分たちが工夫すれば、みんなが分かりやすくなる。 <社会> ・こういうものがあれば、社会全体が住みやすくなる。 ○あなたの身の回りに、ピクトグラムと同じような考えで作られたものはありませんか。 ・自動ドア ・スロープ ・点字ブロック | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活であたりまえのように使っているものの中にも、誰かの立場に立って考えた結果、生み出されたものがあることに気付かせる。 ・「どんな人にでも」「誰でも」という考え方の大切さについて、考えを深められるようにする。 ・自分の考えを整理し、ワークシートに記入した後、学級内で発表して考えを共有する。 ・使う人の立場や気持ちを思いやって作られている道具や装置を、日常の中から探させる。 ・ピクトグラムと同じような考えで作られている身の周りのものの写真を用意して提示する。 |
| 終 末 | 4 自分の生活を振り返る。 ○「思いやる」ということについて、自分はどんな考えをもっているか振り返りましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人や小さな子ども以外にも、どのような人に対して配慮が必要なのか考えさせる。 ・外国人などと必要な情報を共有することは、どんなメリットがあるのか考えさせる。 |

5 評価

相手のことを考え、誰に対しても思いやりをもつことが大切だと考えることができたか。